



「OYAKO」の輪がひろがってます！

あなたも映画「OYAKO」の上映会を開催しませんか？



日本の親子を、世界で一番見つめてきた
写真家ブルース・オズボーンが会った、ありのままの
親子の姿。昨日の自分と明日の自分に出会えます。

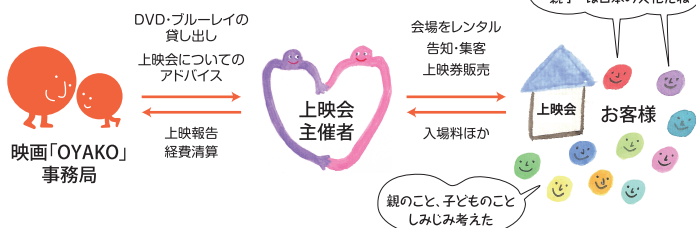
上映会というソーシャルアクション

◆ 自主上映会のご案内

◀ みんなで O Y A K O のことを考える機会にしていいただければと願っています！

- 1 誰でも上映会を開催していただくことができます。
- 2 開催に必要なのは、〈仲間〉〈場所〉と〈感謝の心〉です。
- 3 DVD、ブルーレイのいずれかを貸し出いたします。
- 4 貸出料金は50,000円(税別)〜です。(後払)
- 5 1日、何回でも開催可能です。
- 6 事前コストは場所代と告知代(約2~4万円)のみです。
- 7 お支払後の残金は、収益としてください(有料上映の場合)。
- 8 トークショー等のイベントも同時開催可能です。
- 9 メールにて上映会の開催を完全サポートいたします。

自主上映会の流れ





「親子の日」10周年プロジェクト

OYAKO

-present to the future-

親子って何だろう？

子供だから感じられた空気感、親になって気がついた無償の愛情。
言葉では伝えにくい親子の関係を、もう一度確認して見ませんか。



映画「OYAKO」のあらすじ

30年ほど前、ロサンゼルスで活躍していたフォトグラファー、ブルース・オズボーンは日本にやって来た。ある時、雑誌の依頼で、モヒカンのパンクロッカーを撮ることになり、母親と一緒に彼をフィルムに収めた。ギャップを狙ったはずの写真に写し出されたのは、親子の一体感だった。

それ以来、彼は、5000組もの親子写真を撮り続ける。2003年には「親子の日」を提唱し、親子の大切さを社会に問いかける活動もはじめる。2011年、東日本大震災の傷が癒えない被災地で撮影した親子からは、逆境に負けない力強さを感じた。親子写真を撮り続けるうちに彼は「日本の親子」の中に、世界に問うべき大切なメッセージを発見していく。「Present to the future」…親子という関係こそ私たちが大切にすべき「未来への贈り物」なのだ。

この映画を作ったきっかけは「親子の日」の普及と、多くの人たちと「親子」について考えたいという願いでした。「親子の日」は多くの人たちの応援によって支えられ広がっています。



●「親子大使」からのメッセージ

「親子の日」に愛だ！
これが浜口劇場です。
厳しさと優しさの大調和、これ親子の命。

「お父さんをそんなに苛めないでー！」と仲を取り持つ。
「あなたの指導は厳しすぎるー！」と京子のいる目の前で私を叱り飛ばす。
そして私が家に帰り着くと、私を大声で叱り飛ばす。
私が娘の京子をレスリングで厳しく指導すると女房の初枝が慈愛の言葉で優しくする。
「優しさが過ぎると冷酷になり優しさが過ぎると墮落する」
「あなたが家に帰ると、私を大声で叱り飛ばす。」
「お父さんをそんなに苛めないでー！」と仲を取り持つ。

アニマル浜口（元プロレスラー） 浜口京子（レスリング選手）

大林宣彦（映画監督）
親子の絆は縦軸のコミュニケーションである。現在と過去、現在と未来を結ぶ時間を豊かにしてくれる。情報社会は横軸の世界を広げてくれたが、縦軸の約束を忘れてきた。その事が現代の不幸を多くを生んだと反省する。親子を結ぶ物語が切実に必要な。「親子の日」を応援します。

映画「OYAKO」は、あなたが開催する自主上映会でさらに大きく育ちます！

◆映画「OYAKO」は、「親子の日」から生まれました
ブルース・オズボーンは、7月第4日曜日を「親子の日」として提唱し、親子の大切さを社会に問いかけてきました。やがて、その活動は人から人に伝わり、大きな輪になりました。映画「OYAKO」はその輪の中から生まれました。ですから、この映画も人から人へと伝わる自主上映会という方法で、多くの方々に観ていただきたいと考えているのです。

◆自主上映会の開催は難しくありません

いま、全国で自主上映会開催の静かなムーブメントが広がっています。それを支えているのは主婦や会社員、リタイアされたシルバー世代、商店街やNPOの皆さん、そうした映画業界とは縁のなかった皆さんです。「この映画、いいな」という想いがあれば大丈夫。ぜひ、あなたも仲間と一緒に、楽しく自主上映会を開催してください！

例えば、こんな機会に…

- 地域のイベント、文化行事、芸術祭などに
- 「絆」親子関係を考える集会、セミナーなどに
- 学校教育の一環として
- 市町村の行政サービス（子育て支援、生涯学習、人権教育などの企画）として
- 企業の顧客サービスやCSRに
- 地域振興のために

サンプルDVD
無料貸出中！

◆上映会申込、お問い合わせ www.oyako-joeikai.com

「OYAKO」—present to the future—

映画出演：BRUCE OSBORN 仲野茂 大林宣彦 三浦豪太 コシノジュンコ

広河隆一 鳥越俊太郎 PETER BARAKAN CHRIS PEPPLER（ナレーション）他

監督：イノマタトシ（猪股敏郎）総合プロデューサー：井上 佳子 脚本：渡辺 熱

協賛協力：オリンバス株式会社 オーティコン株式会社 株式会社協同商事

協同組合日本写真館協会 下松フィルムコミッション 株式会社円谷プロダクション

製作：親子の日普及推進委員会 <http://www.oyako.org>

上映会配給：ワンダーラボラトリー

